

### 市民の命を守るため きめ細やかな福祉施策を



公明党 寺井 均 議員

市長 住民の要望に対する事業側の実績を求めるとともに、行政の機能を果たすよう努力する。

議員 視覚障がい者のうち点字が読める人は全体の1割程度だ。「音声コード」は機械で読み取ることにより活字情報を音声化することができ、視覚障がい者の情報取得の重要な手段となる。本市における音声コードの普及の現状を伺う。

#### 健康福祉部調整担当部長

議員 交通事象等で脳に特異な損傷を負う軽度外傷性脳損傷は世界保健機関が対策を呼びかけ、世界的な関心を集めている病気が、日本では注目度が低い。本

### AEDの普及と活用で より多くの命を救いたい



公明党 赤松 大一 議員

議員 AED(自動体外式除細動器)の普及を図るため、講習等の拡充が必要だ。小学校高学年を対象に救命講習を実施できないか。

#### 教育長

議員 聴覚障がい者対象の講習を実施してはどうか。

#### 市長

議員 AEDの設置場所を周知する仕組みが必要だ。

議員 保育園へのAED設置をぜひ推進してほしい。総務部長 検討したい。

### 予防接種を公費助成し 子宮頸がんゼロのまちに



公明党 粕谷 稔 議員

議員 厚生労働省のがん対策推進基本計画では5年間でがん検診受診率50%を目指すとしている。調査によると全国平均24.5%で、目標年次まで残り1年となった。

議員 がん検診の重要性を周知し、受診内容の工夫とともに、健康についての意識啓発に努めていきたい。

#### 市長

議員 内閣府は障がい児を含めた全ての子どもが共生するための教育「インクルーシブ教育」の検討を進めている。国の動きにどのように対応していくのか。

### インクルーシブ教育への 基本的な考え方を問う



公明党 緒方 一郎 議員

議員 条件整備への議論が必要だ。三鷹から国の考えを変えていくぐらいの気概を持って取り組みたい。

#### 市長

議員 本市の教育支援の取

### 高齢者の不安解消へ 生活実態を把握せよ



民主党 岩見 大二 議員

議員 今年の酷暑は特に高齢者の生活を直撃した。家の中であっても熱中症の危険が伴い、不安にさらされた高齢者は多い。市はどのような酷暑対策をしたか。

#### 健康福祉部長

議員 100歳以上の高齢者の所在不明問題には自治体の実態把握が不十分との指摘もあったが、この問題の核心は家族のあり方の変化だと考える。市の所見を伺う。

#### 市長

議員 子ども施策を推進するに当たっては、できる限り子どもたちの声を反映すべきと考える。方策を聞く。

#### 子ども・子育て施策のさらなる充実を目指せ



民主党 谷口 敏也 議員

議員 児童虐待の早期発見



高山小学童保育所分室

には、「子ども家庭支援ネットワーク」の強化が必要だ。宅配業者や郵便局等の協力を得ることはできないか。

#### 市長

議員 生活を支える国民年金制度の周知を徹底せよ



民主党 浦野 英樹 議員

議員 厚生労働省によると平成21年度の国民年金第1号被保険者の保険料納付率は過去最低を記録し、59.98%となった。この現状について市長の見解を伺う。

#### 市長

議員 制度の知識がないことが原因で障害年金等の公的給付を受けられない事例が若年層にもある。国民としての権利と生活を守るため、年金等の社会保険制度について小中学校での教育機会を増やすべきだ。

#### 教育部長

議員 動物との共生について